

2025(令和7)年度

募集要項

文学部

編入学試験



今後の社会情勢の変化に伴い、記載内容が変更になる可能性があります。
変更が生じた場合には、鶴見大学ホームページにてお知らせいたします。

3つのポリシー 文学部

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

文学部では、他者に対する思いやりの心を涵養し、幅広い視野と柔軟な思考力および体系的な専門知識を修得して、これからの社会に貢献しようとする学修者が、所定年限在籍・所定単位数修得の要件を満たした場合において、学士（文学）を授与します。

1. 共通教育の多面的履修と人文科学の広汎な学修により、広い世界認識に到達することができる。
2. 深い自己認識を備え、他者への豊かな共感を持つことができる。
3. 自立した社会人となり、学問の意義と重要性を理解して積極的に生涯学び続けることができる。
4. 専門分野の知識・技能を体系的に修得し、社会の多様な問題解決に寄与できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

文学部では、自己を正しく認識し慈愛の心を育み、広い教養と深い専門知識を備え、社会の発展に貢献できる人材を育成するために、以下の教育課程を編成し、実施しています。

1. 基礎的教養教育
自己開発と現代社会の多様なニーズに応えることのできる教養・知恵および技能を養成するために、A基礎科目、B外国語科目、C文化・芸術系科目、D人間・社会系科目、E生活・環境系科目、Fキャリア形成科目を開講する。
2. 禅的情操教育
深い自己認識を備え、他者への豊かな慈愛の心を育み、学修内容を実践的に生かすために宗教学を開講し、各種の宗教行事を催す。
3. キャリア教育
自立した社会人に求められるコミュニケーション能力や自己表現などのスキル向上のための科目を開講する。
4. 専門教育
基礎から高度に実践的・学問的な専門知識までを体系的に修得できるよう、科目を編成し開講する。

5. 独自教育

- 1) 全学部学生に対し、多彩な資格（教職・司書・学芸員）取得のための教育課程が開かれている。
- 2) 高度な専門分野の知識・技能の修得を目的として、少人数教育の科目を多数開講する。
- 3) 他学科開講科目の履修も一定の範囲内で可能であり、多彩な履修によって幅広い世界認識や他者への豊かな共感力を育てる。
- 4) 曹洞宗宗侶養成課程を開設している。
- 5) その他、各学科で独自の教育を実施している。以下は、その一例である。

〔日本文学科〕 伝統文化理解に必須の古文・漢文に関する能力を基礎から養成する。

〔英語英米文学科〕 異文化理解を促進し、英語多読の体系的・先端的教育を実施する。

〔文化財学科〕 実践的知識・技能の修得のために、各種実習を多彩に開講する。

〔ドキュメンテーション学科〕 図書館の古典籍を活用して即時の書誌学教育を行う。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

文学部では、自己と世界に関わる諸問題を真摯に学び、各専門分野に積極的関心を持ち、新たな知的価値の創造と未来社会への貢献にむけて努力する人を歓迎します。

1. 世界や他者に対する幅広い関心と豊かな共感を備えている人。
2. 自己を深く認識することに関心があり、常に学びの努力を惜しまない人。
3. 社会に貢献する意志を持ち、現実の多様な問題に対して主体的に取り組む人。
4. 総合的基礎学力と専門分野の知識を有し、積極的学修をとおして高度な知識・技能を身につける意欲がある人。

目 次

入学者選抜方針／募集人員・入試日程	1
出願資格／出願書類と入力上の注意	2
出願書類提出方法／受験または就学上の配慮に関する事前相談について	
入学検定料および納入方法について	3
受験生宿泊について（参考）／受験当日の注意について／	
入試における不正行為の取り扱いについて	4
選考方法	5
試験会場案内図	6
時間割／合格発表について	7
合否確認手順／入学手続について	8
学納金等について	9
教育ローン制度について	10
女子学生寮について／アパート等の紹介について	11

入学者選抜方針

所定の資格を満たした者に対し、学修への意欲・適性・基礎学力を評価します。判定は、筆記および実技・口頭試問等により、総合的に行います。

学力の3要素のうち「思考力・判断力・表現力」および「主体性・多様性・協働性」を重視する入試です。

【選考方法および評価項目】

選考方法				評価項目			
筆記	小論文	面接	課題	調査書または課外活動の実績	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
○	—	○	—	—	○	○	○

募集人員・入試日程

※インターネット出願のみ

編入学年次：3年次

募集人員：各学科とも若干名

各出願登録締切日の17:00までに、出願登録を、同20:00までに入学検定料のお支払を完了させてください。

なお、出願登録は各出願期間開始日の9:00より受け付けます。

入学手続締切日は、入学手続書類提出とともに、所定の学納金を納入する締切日となります。

	学 科	出 願 期 間	選 考 日	合格発表日	入学手続 締 切 日
1 期	日 本 文 学 科	インターネット出願登録受付 11月1日(金)～ 11月13日(水)17:00 出願登録締切 出願書類：11月15日(金) 願書受付センター必着	11月24日(日)	12月2日(月)	12月12日(木)
	英 語 英 米 文 学 科				
	文 化 財 学 科				
	ドキュメンテーション学科				
2 期	日 本 文 学 科	インターネット出願登録受付 2025年1月27日(月)～ 2月16日(日)17:00 出願登録締切 出願書類：2月18日(火) 願書受付センター必着	2025年 2月25日(火)	2025年 2月28日(金)	2025年 3月10日(月)
	英 語 英 米 文 学 科				
	文 化 財 学 科				
	ドキュメンテーション学科				

※出願済みの受験生が新型コロナウイルス感染症等に罹患し、やむを得ず受験ができない場合は試験当日9:00までに入試センターへご連絡ください。受験機会確保の観点から、追試および振替受験の対応について相談に応じます。追試および振替受験をする場合は、医療機関等による罹患の証明書が必要となります。(後日提出可) ただし、日程の都合により一部対応できかねる入試もございます。

出願資格（1期・2期共通）

《日本文学科》 次の(1)～(3)のいずれかに該当する者

- (1)短期大学国文科(国語科またはこれに準ずる科を含む。)を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- (2)4年制大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者および2025年3月までに62単位以上修得見込みの者
- (3)大学改革支援・学位授与機構において学士の学位を取得した者および2025年3月までに取得見込みの者

《英語英米文学科》 次の(1)～(4)のいずれかに該当する者

- (1)短期大学英文科(英語科またはこれに準ずる科を含む。)を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- (2)4年制大学に2年以上在学または2年以上在学することになる見込みで、62単位以上修得した者および2025年3月までに62単位以上修得見込みの者
- (3)大学改革支援・学位授与機構において学士の学位を取得した者および2025年3月までに取得見込みの者
- (4)専修学校の専門課程(英語科またはこれに準ずる科)のうち、文部科学大臣の定める基準(修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数1,700時間以上)を満たすものを修了した者および2025年3月修了見込みの者(ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)

《文化財学科》 次の(1)～(3)のいずれかに該当する者

- (1)短期大学を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- (2)4年制大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者および2025年3月までに62単位以上修得見込みの者
- (3)大学改革支援・学位授与機構において学士の学位を取得した者および2025年3月までに取得見込みの者

《ドキュメンテーション学科》 次の(1)～(3)のいずれかに該当する者

- (1)短期大学を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- (2)4年制大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者および2025年3月までに62単位以上修得見込みの者
- (3)大学改革支援・学位授与機構において学士の学位を取得した者および2025年3月までに取得見込みの者

出願書類と入力上の注意 ●別途郵送が必要となるもの

単位成績証明書	出身校（出願資格(3)に該当する場合は、単位を修得した学校）において記入厳封のうえ交付されたものを提出してください。 ※各選考日より3箇月以内に発行されたものに限りませ。
卒業(見込)証明書または修了(見込)証明書	出身校において記入厳封のうえ交付されたものを提出してください。 ※各選考日より3箇月以内に発行されたものに限りませ。 ・出願資格(1)に該当する者は、「卒業証明書」または「卒業見込証明書」 ・出願資格(2)に該当する者は、2年以上の在学が確認できる証明書（4年制大学在学者は「在学証明書」、退学者は「在学期間証明書」または「在籍証明書」） ・出願資格(3)に該当する者は、大学改革支援・学位授与機構が発行する「学位授与証明書」または「学位授与申請受理証明書」 ・英語英米文学科の志願者で出願資格(4)に該当する者は、専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上の専門課程を修了または修了見込であることが確認できる証明書
志望調書	志望動機、800字程度（A4判任意用紙使用、志願学科・氏名を明記してください。）

【注意事項】

改姓等により、単位成績証明書・卒業証明書等に記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、改姓の事実が証明できるもの（戸籍抄本等）を併せて提出してください。（コピー不可）

【編入学試験を志願する際の注意】

鶴見大学文学部の卒業要件となっている単位数は、124単位以上です。編入学後、既修得単位のうち、鶴見大学文学部の教育課程にあてはまるものについては、単位の認定を行います。短期大学出身者の場合は、その上限は62単位です。従って、**3年次に編入学しても2年間では卒業できないことがあります**ので、あらかじめご承知おきください。

出願書類提出方法

郵 送 簡易書留・速達で郵送してください。

*出願書類一式をインターネット出願登録後に出力した宛名ラベルを貼付した封筒に入れ提出してください。なお、一度受理した提出書類並びに入学検定料は、返還いたしません。

受験または就学上の配慮に関する事前相談について

身体機能の障がいや疾病等により、入学試験を受ける際、または入学後の学生生活において特別の配慮を必要とする方は、鶴見大学の教育方法や支援体制および施設設備などで対応することが可能かを協議するため、鶴見大学との事前相談を行う必要がありますので、必ず出願前（※各選考日の1箇月前まで）に鶴見大学入試センターへご連絡ください。事前相談の結果に基づき、障がいや疾病等の程度に応じた可能な範囲の措置を講じます。

ただし、ご希望のすべてに対応できるとは限りませんので予めご承知おきください。また、配慮内容によっては、関係する書類の提出を求める場合や、対応に時間を要する場合がありますので、できるだけお早めにご連絡ください。

なお、出願後に大きな病気や怪我をし、受験上の配慮が必要となった場合も、速やかに鶴見大学入試センターまでご連絡ください。

入学検定料および納入方法について

■入学検定料
30,000円

次の場合は入学検定料が割引になりますので、以下の項目をご確認のうえお支払ください。

複数回受験の場合 【チャレンジ割】

本年度、鶴見大学独自の入学試験を既に1回以上出願した場合、2回目以降の入学検定料が15,000円になります。
※一般選抜(大学入学共通テスト利用型)は対象外となり、回数に含みません。

※大規模自然災害等による「災害救助法」適用地域において被災した場合は、入学検定料が全額免除になります。(下の二重枠内をご確認ください。)

*大規模自然災害等による「災害救助法」適用地域において被災(罹災)した場合【被災地特例】

過去2年以内に「災害救助法」が適用された地域にて被災(罹災)した受験生で、罹災(被災)証明書等とともに鶴見大学所定の「入学検定料免除申請書」を提出された方に対しては、入学検定料を全額免除いたします。「入学検定料免除申請書」の様式等、詳細につきましては、受験生応援サイト (<https://support.tsurumi-u.ac.jp>) をご覧ください。

※該当する方は出願前に鶴見大学ホームページをご確認のうえ、申請書類は必ず必要書類とともに提出してください。

なお、合格発表日以降の申請は一切受けられませんので、ご注意ください。

※「災害救助法」適用地域については、内閣府ホームページ (https://www.bousai.go.jp/taisaku/kyuujo/kyuujo_tekiyou.html) をご覧ください。

■納入方法

「[大学出願ネット出願の手引き](#)」をご参照ください。

■入学検定料に関する注意

納入された入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

- ・検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
- ・検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願が受理されなかった場合
- ・検定料を誤って、所定の金額よりも多く納入した場合

〔返還請求方法〕 鶴見大学入試センターまでお問合せください。「入学検定料返還願(鶴見大学所定用紙)」をお送りしますので、必要事項を記入のうえ提出してください。

受験生宿泊について（参考）

宿泊を希望する受験生は、直接ホテルをご予約ください。

ホテル名	最寄り駅	電 話
ホテルリブマックス BUDGET 横浜鶴見	JR 鶴見駅東口・徒歩 4 分	045-500-6000
東横イン横浜鶴見駅東口	JR 鶴見駅東口・徒歩 4 分	045-504-1045
ベストウェスタン横浜	JR 鶴見駅東口・徒歩 3 分	045-504-8900
ホテルメッツ横浜鶴見	JR 鶴見駅東口・徒歩 1 分	045-500-5011
ホテルテトラ鶴見	JR 鶴見駅東口・徒歩 5 分	045-504-1122

受験当日の注意について

熟読のうえ入学試験に臨んでください。

- (1)受験票は必ず持参してください。万一、受験票を紛失または忘れた場合は、入場の際に受付に申出て受験票の再交付を受けてください。
- (2)試験場入場の際、受付において係員が受験票を確認しますので提示してください。
- (3)試験場は、受付開始時刻から入場できます。受験番号により案内しますので受験番号を確認しておいてください。出欠調査開始時刻までに、受験番号が貼付けられた指定の席に着席してください。
- (4)試験場内では試験監督者の指示に従ってください。
- (5)試験場内では、携帯電話等の電源を切ってカバンに収納してください。
- (6)筆記試験の解答には、鉛筆を使用してください。
- (7)筆記試験中机の上に置けるものは、受験票・鉛筆・消しゴム・時計（時刻表示以外の機能を備えているものは使用禁止、アラームは消しておくこと）のみとし、これ以外の所持品は置かないでください。下敷きを持参しても使用できません。
- (8)上履きを用意する必要はありません。
- (9)試験終了まで試験場の外には出られません。
- (10)付添者は試験場に入場できません。

■入学試験時の不測の事態の対応について

不測の事態（気象災害、交通事故または災害等により交通機関の運行に支障をきたした場合等）の対応窓口・お問合せ先は下記のとおりです。

鶴見大学入試センター TEL 045-580-8219・8220

※緊急のお知らせがある場合は、受験生応援サイトに掲出します。 (<https://support.tsurumi-u.ac.jp>)

【重要】入試における不正行為の取扱いについて

鶴見大学では、真摯に受験に臨む受験生の皆さんが不利益を被ることがないように、不正行為者に対し、厳正な措置を執ります。

については、入学者選抜試験における不正行為およびその取扱いを次のとおりとします。

なお、今回公表する内容は現時点のものであり、今後変更する可能性もありますので、本学からの発表にご注意願います。

（不正行為を行った場合の取扱いについて）

不正行為を行った場合は失格となり、当日の入学試験の全教科に加え、出願した本学の本年度入学試験のすべての教科の得点を無効とします。（大学入学共通テスト利用型についても全教科・科目の得点を無効とします。既に合格した本学の入学試験がある場合は合格を取り消します。）

その場合、入学検定料は返還されません。

行った不正行為に関して、不正行為者の保護者および在籍(出身)大学に対して報告する場合があります。

なお、試験終了後に不正行為が発覚した場合であっても、同様に取扱いします。

(出願書類について)

出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とすることがあります。

(筆記試験について)

○不正行為となること

1.カンニング行為(試験科目に関するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、使用を許可されていない教科書、参考書、辞書等の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。)をすること。

2.他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。

3.「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めたりすること。

4.「解答やめ」の指示の後に、解答を続けること。

5.試験時間中に、使用を許可されていない物品(補助具や電子機器類など)を使用すること。

※携帯電話、スマートフォン、タブレット型端末、ウェアラブル端末等の電子機器については、電源のON/OFFに関わらずかばんの外に出ていた時点で使用とみなします。

6.別の受験者になりすまして受験すること。

7.問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。

○不正行為となる場合があること

1.試験時間中に、使用を許可されていない書籍類・補助具・電子機器類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりすること。

2.試験時間中に携帯電話や時計の音(着信・アラーム・振動音など)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

3.試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。

4.問題冊子や解答用紙の見せ合い、話し合い、のぞき見等の疑いのある行為を行うこと。

5.試験時間中に、長い間机の下に手を入れたり、服のポケット等に手を入れたりすること。

6.試験場において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。

7.試験場において、監督者の指示に従わないこと。

8.その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

(面接試験について)

○不正行為となること

1.面接試験中に他の人と連絡をとりあうこと。

2.面接試験の録画・録音、またはそれをSNS等のインターネット上へ掲載すること。

3.面接終了後に、これから面接をおこなう他の受験生に内容を伝えること。

○不正行為となることがあること

1.受験者控室または面接室前で無用な会話をすること。

2.受験者控室または面接室前で待ち時間に携帯電話等の通信機器を使用すること。

3.受験者控室または面接室前で係員の指示に従わないこと。

4.その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

選考方法(1期・2期共通)

《日本文学科》

筆記試験(国語・国文学—漢文を含む。)、口頭試問、志望調書による総合判定

《英語英米文学科》

口頭試問、英文音読、単位成績証明書、志望調書による総合判定

《文化財学科》

筆記試験(日本史・日本美術史・考古学・文化財科学の4分野より1分野選択)、口頭試問、志望調書による総合判定

《ドキュメンテーション学科》

実技試験「パソコンの基礎知識および操作スキル試験(ワープロソフトと表計算ソフトの操作)」、口頭試問、単位成績証明書、志望調書による総合判定

※実技試験は、鶴見大学にて用意したパソコン端末を使用します。(OS: Windows)

試験会場案内図



- [交通] ●JR 京浜東北線「鶴見駅」西口より徒歩5分
●京浜急行線「京急鶴見駅」西口より徒歩7分
曹洞宗大本山總持寺境内入口…*

本学ホームページでも、案内図をご覧いただけます。携帯電話・スマートフォンはこちらから→



時間割（1期・2期共通）

	日本文学科	英語英米文学科	文化財学科	ドキュメンテーション学科
受付	9:00 ~ 9:30			
出欠調査・問題配付	9:30 ~ 9:45			
筆記・実技試験	(筆記試験) 9:45~10:45		(筆記試験) 9:45~10:45	(実技試験) 9:45~10:45
口頭試問	11:00~	9:45~	11:00~	11:00~

合格発表について

受験生本人がインターネットにアクセスすることにより合否結果を知ることができます（当日 10 時 00 分より）。

確認方法については P.8 をご覧ください。

注）電話による合否結果並びに ID やパスワードについてのお問合せには応じません。

合否確認手順について

合格発表日以降、受験生本人がスマートフォンおよびパソコンで「大学出願ネット」から合否確認ができます。

■ 確認手順

1 大学出願ネットにログイン



2 出願状況の確認ボタンをクリック



3 対象選抜制度の詳細ボタンをクリック



4 ページ下部に表示されている合否結果を確認



※合格通知書についても「大学出願ネット」よりダウンロード可能です。

入学手続について

合格された方は、各入試の手続期間内に入学手続を行ってください。
入学手続は、入学手続情報の登録、学納金の納入、入学手続書類一式の提出（郵送）をもって完了とします。
一旦納入された入学金は、いかなる理由があっても返金できません。

学納金等について

学納金は入学手続締切日までに納入してください。

■鶴見大学以外からの編入学者

(単位:円)

項目	日本文学科	英語英米文学科	文化財学科	コミュニケーション科	備考
入学金	360,000	360,000	360,000	360,000	入学時のみ
授業料	710,000	710,000	710,000	710,000	年額 (前期、後期の2回に分けて納入) ※ただし年額一括納入も可
実験実習費	—	—	60,000	50,000	年額 (前期、後期の2回に分けて納入) ※ただし年額一括納入も可
施設維持費	280,000	280,000	350,000	350,000	年額 (前期、後期の2回に分けて納入) ※ただし年額一括納入も可
計	1,350,000	1,350,000	1,480,000	1,470,000	

下記の諸費を代理徴収します。

(単位:円)

項目	日本文学科	英語英米文学科	文化財学科	コミュニケーション科	備考
学会費	2,000	2,000	3,000	2,000	入学時のみ
父母会入金	3,000	3,000	3,000	3,000	入学時のみ
父母会費	6,000	6,000	6,000	6,000	年額
同窓会入会登録費	35,000	35,000	35,000	35,000	入学時のみ
学生保険料	2,430	2,430	2,430	2,430	入学時のみ
計	48,430	48,430	49,430	48,430	

◎学生保険料は、学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険であり、金額が変更される場合があります。

入学手続時納入額

(単位:円)

	日本文学科	英語英米文学科	文化財学科	コミュニケーション科	備考
年額納入の場合	1,398,430	1,398,430	1,529,430	1,518,430	
前期分を納入の場合	903,430	903,430	969,430	963,430	

■鶴見大学からの編入学者(鶴見大学短期大学部を含む)

(単位:円)

項目	日本文学科	英語英米文学科	文化財学科	コミュニケーション科	備考
入学金	180,000	180,000	180,000	180,000	入学時のみ
授業料	710,000	710,000	710,000	710,000	年額 (前期、後期の2回に分けて納入) ※ただし年額一括納入も可
実験実習費	—	—	60,000	50,000	年額 (前期、後期の2回に分けて納入) ※ただし年額一括納入も可
施設維持費	280,000	280,000	350,000	350,000	年額 (前期、後期の2回に分けて納入) ※ただし年額一括納入も可
計	1,170,000	1,170,000	1,300,000	1,290,000	

下記の諸費を代理徴収します。

(単位:円)

項目	日本文学科	英語英米文学科	文化財学科	コミュニケーション科	備考
学会費	2,000	2,000	3,000	2,000	入学時のみ
父母会費	6,000	6,000	6,000	6,000	年額
学生保険料	2,430	2,430	2,430	2,430	入学時のみ
計	10,430	10,430	11,430	10,430	

◎学生保険料は、学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険であり、金額が変更される場合があります。

入学手続時納入額

(単位:円)

	日本文学科	英語英米文学科	文化財学科	コミュニケーション科	備考
年額納入の場合	1,180,430	1,180,430	1,311,430	1,300,430	
前期分を納入の場合	685,430	685,430	751,430	745,430	

- (1) 入学金・諸費以外は2回に分けて納入することができます。後期分の納入期限は、入学年度の9月末です。
- (2) 教職および司書・司書教諭、学芸員課程の資格を取得希望する者は、他に所定の費用を納入しなければなりません。
- (3) 入学辞退をする場合、2025年3月31日(月)16時00分までに鶴見大学所定の用紙に必要事項を記入して、文学部教務課へ申出てください。入学金を除く学納金を返還いたします。(郵送の場合は上記締切日必着、窓口提出の場合は上記締切日の16時00分まで受付)

教育ローン制度について

1. 国の教育ローン制度

株式会社日本政策金融公庫は「国の教育ローン」として教育資金貸付（有利子貸与・所得基準有）を行っています。入学時の費用は、合格発表前にお申込みができますので志望校が決まったときに、在学中の費用は、資金が必要になったときに、早めにお申込みください。特に、合格発表の時期はお申込みが集中するため、入学金の振込まで時間を要しますのでご注意ください。

取 扱 窓 口	【教育ローンコールセンター】 電話：0570-008656
---------	-------------------------------

※詳細は、日本政策金融公庫ホームページをご覧ください。⇒<https://www.jfc.go.jp>

2. 提携教育ローン制度

鶴見大学では、横浜銀行、オリエントコーポレーション、三井住友カード、ジャックスとの提携により入学生および在学生在を対象とした「提携教育ローン」制度を設けております。この制度は、学生または学生の保護者等に一般の教育ローンよりも低金利で学費や教育関連費用を融資するものです。原則として在学期間については、元金返済の据え置きが可能となっております。

なお、融資条件や融資内容などは各金融機関により異なりますので、詳細につきましては、直接各機関にお問い合わせください。

※詳細は、鶴見大学ホームページ (<https://www.tsurumi-u.ac.jp>) > 受験生の方へ > 奨学制度・教育ローン（教育ローンのご案内）をご覧ください。

■融資概要例（2024年4月現在）

【横浜銀行】

※利用資格等、詳細は下記取扱窓口へ直接お問い合わせください。	
取 扱 窓 口	横浜銀行 電話：0120-458-018（ローンデスク）

【オリエントコーポレーション】

利 用 資 格	本学へ入学予定または在学生の保護者（法定代理人）で安定した収入を有する者		
融 資 金 額	10万円以上700万円以下 ※歯学部は1,000万円以下 ※1回あたりの利用は納付書記載の金額となります（半期分もしくは通期分を選択）		
返 済 期 間	3ヶ月以上120回（10年）以内		
据 置 期 間	在学期間中		
取 扱 窓 口	学費サポートデスク 電話：0120-517-325 （お問い合わせ時間：9：30～17：30）	【鶴見大学歯学部】 学校コード 14513931 申込コード 0001	【鶴見大学文学部・短期大学部】 学校コード 14513949 申込コード 0001

【三井住友カード】

利 用 資 格	本学へ入学予定または在学生の保護者で安定した収入を有する者、または学生本人（有職者に限る）		
融 資 金 額	原則、4万円以上500万円以下 【歯学部は2,000万円以下】 ※納入期ごと（半期または通期）のご利用となります。 ※複数年度分学費をまとめた利用は出来ません。 ※学費納付書、学費振込依頼書、募集要項等に記載された金額が対象		
返 済 期 間	6回（6ヶ月）～120回（10年）以内 【歯学部は180回（15年）以内】		
据 置 期 間	在学期間中		
取 扱 窓 口	電話：050-3827-0375		

【ジャックス】

利 用 資 格	本学へ入学予定または在学生の保護者（法定代理人）で安定した収入を有する者		
融 資 金 額	原則、20万円以上500万円以下 【歯学部は2,000万円以下】 ※納入期ごと（半期または通期）のご利用となります。 ※複数年度分学費をまとめた利用は出来ません。 ※学費納付書、学費振込依頼書、募集要項等に記載された金額が対象		
返 済 期 間	6回（6ヶ月）～180回（15年）以内		
据 置 期 間	6回（6ヶ月）～48回（4年）以内【歯学部は78回（6年6ヶ月）以内】 在学期間中および卒業後6ヶ月以内		
取 扱 窓 口	コンシューマーデスク http://www.jaccs.co.jp/yuyud/ 電話：0120-338-817 受付時間（平日・土日祝日 10：00～19：00）		

女子学生寮について

鶴見大学では遠方からの入学者のために女子学生寮を設けています。大学から徒歩 25 分、住環境に優れた居心地のよい学生寮でゆったりと大学生活が送れます。

建 物 ・ 設 備	鉄筋コンクリート地上 3 階建 室数 100 室 ワンルーム個室 食堂 100 席 学習机・椅子・ベッド・クローゼット・ユニットバス・トイレ・小型冷蔵庫・エアコン等
費 用	入寮費（入寮時のみ）50,000 円 寮 費（共益費共）年額 492,000 円 食 費 月額 27,000 円（8・2・3 月はなし） ※食費は物価の変動等により、改定することがあります。 電気代は別途実費
在 寮 期 間	在学期間
収 容 定 員	100 名
申 込 方 法	インターネット出願の場合は、入力画面上の女子学生寮入寮希望の項目にチェックを入れてください。 合格発表時に「入寮関係書類」を送付しますので、所定の期日までに手続きを完了してください。

アパート等の紹介について

アパート・貸室を希望の方には、鶴見大学において業務委託をしております『株式会社学生情報センター』で随時物件をご紹介します。

株式会社学生情報センター TEL0120-749-070 鶴見大学向け物件検索ページ→
(<https://749.jp/>)



※試験当日、最寄り駅や大学付近の路上で、アパート等の案内を配付している業者は、鶴見大学とは一切関係ありません。

※入学試験に関する個人情報の取扱いについて

本学では、入学試験志願票にご入力いただいた氏名・連絡先等に関する情報、および出身大学から提出いただいた卒業証明書・成績証明書等の個人情報は、厳重に取扱い、入学者選抜以外の目的に使用することはありません。

お 問 合 せ 先	
出願書類・手続に関すること	大学出願ネットサポートセンター 電話番号 042-732-3951 受付時間 平日 9:00 ~ 17:00 (出願期間中のみ受付)
その他入試全般に関すること	鶴見大学 入試センター 受付時間 平日 9:00 ~ 16:00 土曜 9:00 ~ 12:00
鶴見大学 入試センター 〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見 2-1-3 電話番号 045-580-8219・8220	